

第83期末（2023年5月15日）

基準価額 6,542円

純資産総額 760百万円

第82期～第83期
(2022年11月16日～2023年5月15日)

騰落率 2.2%

分配金合計 40円

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ／パトナム・ ユーロインカムオープン

追加型投信／海外／債券

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2022年11月16日～2023年5月15日

第82期（決算日 2023年2月15日）

第83期（決算日 2023年5月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン」は、このたび第83期の決算を行いました。

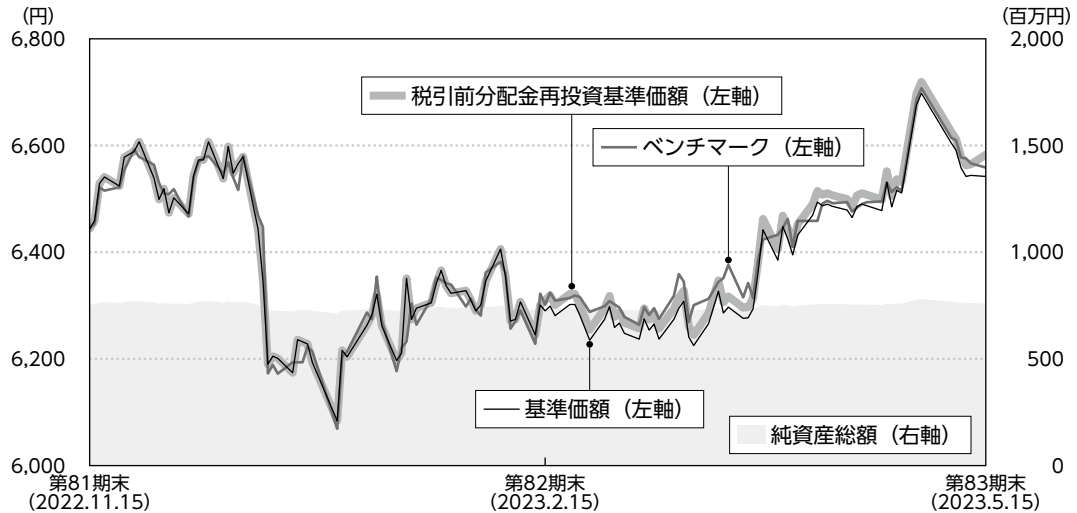
当ファンドは、「ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2022年11月16日～2023年5月15日

基準価額等の推移



第82期首	6,444円	既払分配金	40円
第83期末	6,542円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.2%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス (円換算ベース) で、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なおベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・3月末から5月初旬にかけて、欧米の金融システム不安がやわらいだことと欧州中央銀行 (ECB) が金融引き締めに積極的な姿勢を示す一方で日銀が金融緩和政策を維持したことなどから、ユーロが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・12月下旬、日銀によるイールドカーブ・コントロール (長短金利操作、YCC) の修正により、ユーロとイギリス・ポンドが対円で下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第82期～第83期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	40円	0.627%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は6,382円です。
(投信会社)	(23)	(0.354)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(16)	(0.245)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	41	0.643	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

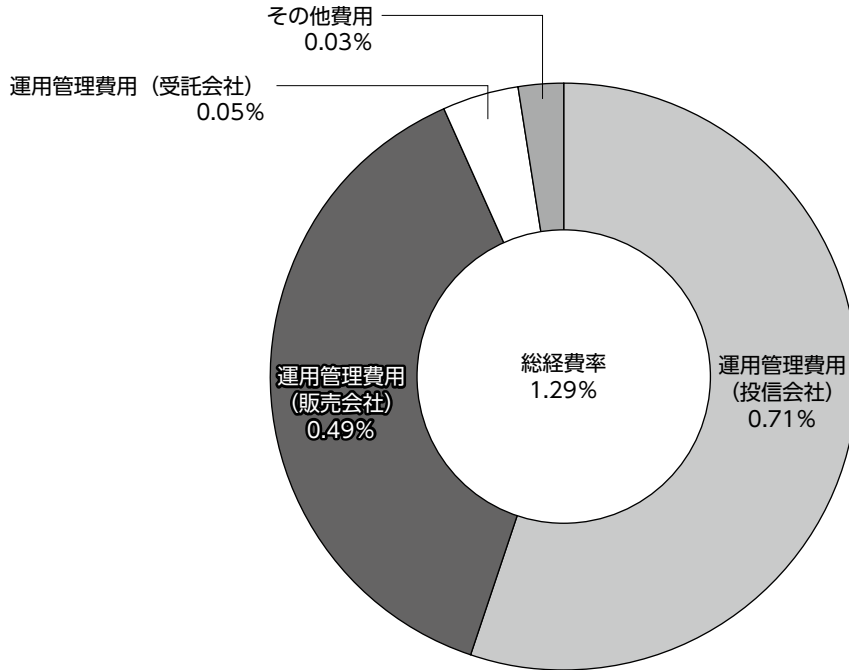
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.29%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

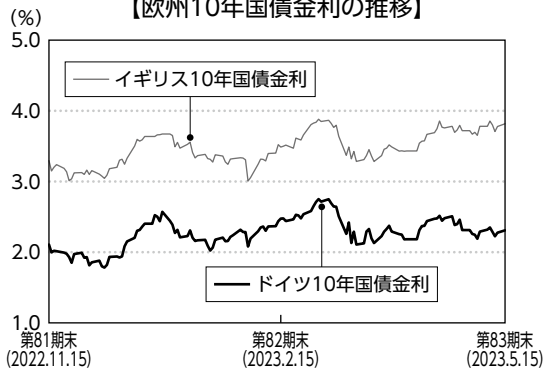
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■ 欧州債券市況

【欧州10年国債金利の推移】



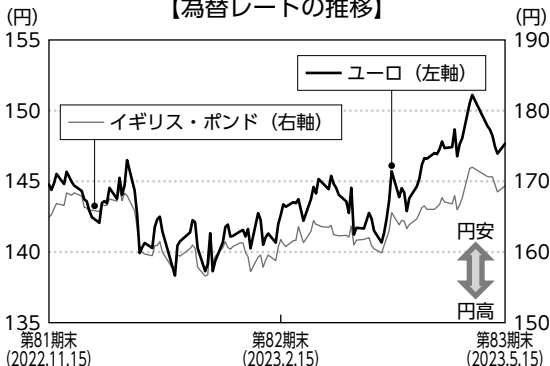
(注) 10年国債金利はブルームバークのデータを使用しています。

当作成期のドイツ10年国債金利は小幅に上昇しました。当作成期初から3月上旬にかけては、欧州におけるインフレピークアウト観測の高まりなどを背景に金利は一時低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、ECBの金融引き締めに積極的な姿勢などから上昇基調で推移しました。3月中旬の米シリコンバレーバンクの経営破綻をきっかけとした欧米金融機関に対する信用不安の高まりから金利は低下し、その後、当作成期末にかけては横ばいで推移しました。

当作成期のイギリス10年国債金利は上昇しました。当作成期初から3月上旬にかけては、イングランド銀行（BOE：中央銀行）の利上げによる景気後退リスクが意識されたことなどにより、金利は一時低下する場面もありましたが、BOEの金融引き締めに積極的な姿勢などを受けて上昇基調で推移しました。3月中旬の欧米金融機関に対する信用不安の高まりから金利は低下しましたが、その後は、BOEの金融引き締めに積極的な姿勢やイギリスの経済指標が堅調であったことなどを受け、当作成期末にかけては上昇基調で推移しました。

■ 欧州為替市況

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

ユーロ／円相場は当作成期を通じて見るとユーロ高円安となりました。当作成期初から1月上旬にかけて、日銀によるYCCの修正などを受けて日欧金利差が縮小するとの見方が強まったことからユーロ安円高基調で推移しました。その後、ユーロ圏の堅調な経済指標や日銀総裁就任前の植田氏が金融緩和継続を支持したこと、ECB高官の金融引き締めに積極的な発言などからユーロ高円安基調で推移しました。3月中旬の欧米金融機関に対する信用不安の高まりからユーロが対円で下落しましたが、当作成期末にかけては各国中央銀行の対応を受けて欧米の金融システム不安がやわらいだことや、利上げに積極的なECBと緩和政策を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどから、ユーロ高円安となりました。

イギリス・ポンド／円相場は当作成期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。当作成期初から12月中旬にかけては横ばいで推移しましたが、12月下旬に日銀によるYCCの修正を受けてイギリス・ポンドは対円で下落しました。その後は再び横ばいで推移しましたが、3月末に欧米の金融システム不安がやわらいだことなどから対円で上昇しました。4月上旬から当作成期末にかけてはイギリス・ポンド高円安で推移しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるザ・パトナム・アドバイザーズ・カンパニー・エルエルシーのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当作成期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（55.7%）、投資適格社債（40.5%）、エマージング債券（0.9%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前作成期末と比較すると投資適格社債の配分を引き上げ、ハイイールド社債の配分を引き下げました。

当作成期のデュレーションは対ベンチマーク比でやや短めに調整し、平均格付は前作成期末より引き続き「A格」としています。

（注1）比率は外貨建資産に対する評価額比です。

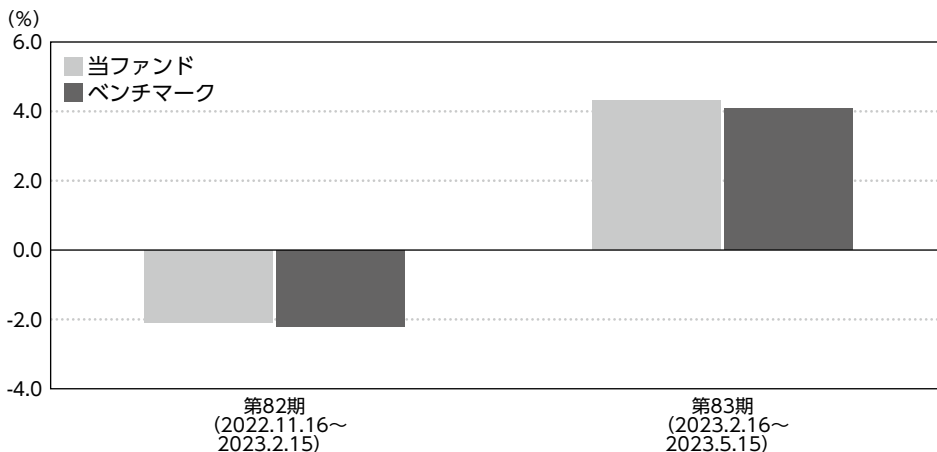
（注2）デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

（注3）原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

*ベンチマークはブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）です。ベンチマークの詳細につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

ベンチマークとの差異



当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+2.2%となり、ベンチマーク騰落率(+1.8%)を上回りました。

これはマザーファンドにおいて、投資適格社債等を対ベンチマーク比で多めとしていたことなどがプラスに寄与したことによるものです。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第82期	第83期
	2022年11月16日~2023年2月15日	2023年2月16日~2023年5月15日
当期分配金（税引前）	20円	20円
対基準価額比率	0.32%	0.30%
当期の収益	15円	20円
当期の収益以外	4円	—
翌期繰越分配対象額	68円	82円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州経済については、ユーロ圏の2023年1－3月期の実質域内総生産（GDP）成長率（速報値）が前期比+0.1%と小幅にプラス成長となりましたが、状況については引き続き注意が必要です。金融政策については、ECBが5月の理事会において0.25%の利上げを決定していることから、今後も動向を注視していきます。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で現在はやや短めに調整していますが、市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は、ベンチマーク対比で現在はスイス、スウェーデン等を多め、ドイツ、フランス等を少なめとしています。債券種別配分は、ベンチマーク対比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第83期末 2023年5月15日
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

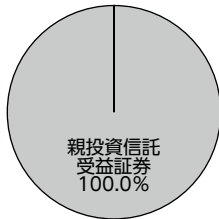
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

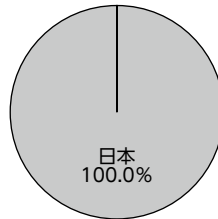
項目	第82期末 2023年2月15日	第83期末 2023年5月15日
純資産総額	734,680,433円	760,381,370円
受益権総口数	1,168,075,685口	1,162,297,962口
1万円当たり基準価額	6,290円	6,542円

(注) 当作成期間（第82期～第83期）中における追加設定元本額は40,619,106円、同解約元本額は48,337,214円です。

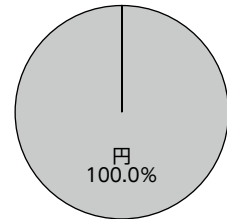
資産別配分



国別配分



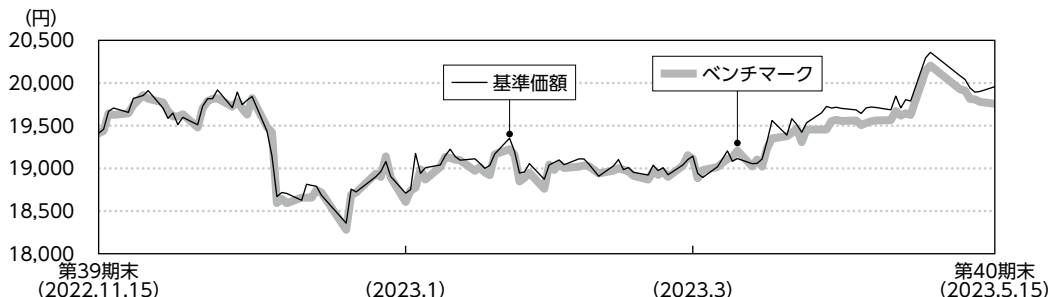
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年5月15日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 上位銘柄

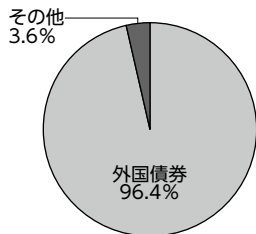
銘柄名	通貨	比率
UK TREASURY 2.0% 2025/9/7	イギリス・ポンド	4.7%
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 0.0% 2031/8/15	ユーロ	4.0
BUONI POLIENNALI DEL TES 6.5% 2027/11/1	ユーロ	3.8
CREDIT SUISSE GROUP AG 0.65% 2029/9/10	ユーロ	3.7
SKANDINAVISKA ENSKILDA 1.375% 2028/10/31	ユーロ	3.6
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 2.5% 2044/7/4	ユーロ	3.5
UK TREASURY 3.25% 2044/1/22	イギリス・ポンド	3.5
JPMORGAN CHASE & CO 2.875% 2028/5/24	ユーロ	3.4
ING GROEP NV 1.625% 2029/9/26	ユーロ	3.0
UK TREASURY 4.5% 2034/9/7	イギリス・ポンド	2.9
組入銘柄数		69

■ 1万口当たりの費用明細

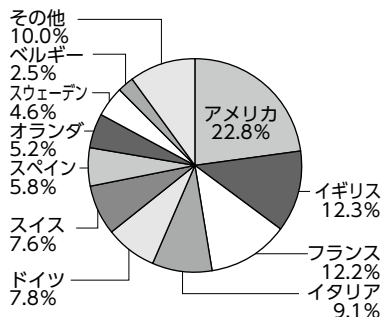
2022.11.16～2023.5.15

項目	金額
その他費用 (保管費用)	2円 (2)
(その他)	(0)
合計	2

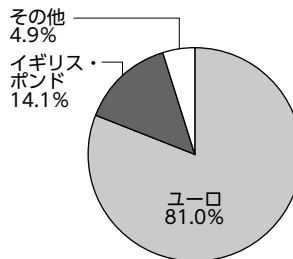
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年5月15日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	ベンチマーク	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金				
	円	円	%	円		%	%	百万円
74期(2021年2月15日)	7,248	30	2.3	16,263	23,485	2.8	96.5	918
75期(2021年5月17日)	7,328	30	1.5	16,373	23,969	2.1	96.1	912
76期(2021年8月16日)	7,315	30	0.2	16,390	24,131	0.7	96.1	892
77期(2021年11月15日)	7,242	30	△0.6	16,347	23,931	△0.8	95.8	867
78期(2022年2月15日)	6,864	30	△4.8	15,999	22,864	△4.5	93.9	813
79期(2022年5月16日)	6,681	30	△2.2	15,846	22,214	△2.8	96.1	788
80期(2022年8月15日)	6,641	30	△0.1	15,836	22,390	0.8	95.6	778
81期(2022年11月15日)	6,444	30	△2.5	15,669	21,891	△2.2	96.5	753
82期(2023年2月15日)	6,290	20	△2.1	15,535	21,407	△2.2	95.6	734
83期(2023年5月15日)	6,542	20	4.3	15,807	22,280	4.1	96.4	760

(注1) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券 組入比率
第82期	(期首)	円	%		%	%
	2022年11月15日	6,444	—	21,891	—	96.5
	11月末	6,519	1.2	22,114	1.0	96.5
	12月末	6,193	△3.9	21,108	△3.6	95.1
	2023年1月末	6,310	△2.1	21,446	△2.0	95.2
	(期末)					
	2023年2月15日	6,310	△2.1	21,407	△2.2	95.6
第83期	(期首)					
	2023年2月15日	6,290	—	21,407	—	95.6
	2月末	6,298	0.1	21,430	0.1	95.2
	3月末	6,442	2.4	21,822	1.9	97.1
	4月末	6,511	3.5	22,133	3.4	95.8
	(期末)					
	2023年5月15日	6,562	4.3	22,280	4.1	96.4

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2022年11月16日～2023年5月15日

	第82期～第83期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 13,415	千円 25,984	千口 20,780	千円 40,304

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2022年11月16日～2023年5月15日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2023年5月15日現在

種類	第81期末	第83期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千口 388,411	千口 381,046	千円 760,454

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド全体の口数は463,480千口です。

投資信託財産の構成

2023年5月15日現在

項目	第83期末	
	評価額	比率
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	千円 760,454	% 99.3
コール・ローン等、その他	5,592	0.7
投資信託財産総額	766,046	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月15日における邦貨換算レートは、1米ドル136.05円、1イギリス・ポンド169.36円、1スイス・フラン151.42円、1デンマーク・クローネ19.83円、1ノルウェー・クローネ12.73円、1スウェーデン・クローナ13.10円、1ポーランド・ズロチ32.67円、1ユーロ147.66円です。

(注2) ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（922,464千円）の投資信託財産総額（930,319千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年2月15日) (2023年5月15日)現在	
	第82期末	第83期末
(A) 資産		
産	739,733,772円	766,046,576円
コール・ローン等	2,273,096	2,193,050
ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド(評価額)	734,702,250	760,454,062
未収入金	2,758,426	3,399,464
(B) 負債	5,053,339	5,665,206
未払収益分配金	2,336,151	2,324,595
未払解約金	320,278	1,019,088
未払信託報酬	2,376,301	2,301,551
その他未払費用	20,609	19,972
(C) 純資産総額(A - B)	734,680,433	760,381,370
元本	1,168,075,685	1,162,297,962
次期繰越損益金 △	433,395,252	401,916,592
(D) 受益権総口数	1,168,075,685口	1,162,297,962口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,290円	6,542円

(注1) 当作成期首元本額 1,170,016,070円
 当作成期中追加設定元本額 40,619,106円
 当作成期中一部解約元本額 48,337,214円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は401,916,592円です。

損益の状況

(第82期 2022年11月16日～2023年2月15日)
 (第83期 2023年2月16日～2023年5月15日)

項目	第82期	第83期
(A) 配当等収益	△ 83円	△ 76円
受取利息	9	2
支払利息 △	92	△ 78
(B) 有価証券売買損益	△ 13,186,503	33,712,533
売買益	196,908	34,135,192
売買損 △	13,383,411	△ 422,659
(C) 信託報酬等	△ 2,396,910	△ 2,321,523
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 15,583,496	31,390,934
(E) 前期繰越損益金	△ 142,063,779	△ 155,310,921
(繰越欠損金) (△142,063,779)	(△142,063,779)	(△155,310,921)
(F) 追加信託差損益金*	△ 273,411,826	△ 275,672,010
(配当等相当額) (8,509,989)	(8,509,989)	(7,974,035)
(売買損益相当額) (△281,921,815)	(△281,921,815)	(△283,646,045)
(G) 合計(D + E + F)	△ 431,059,101	△ 399,591,997
(H) 収益分配金	△ 2,336,151	△ 2,324,595
次期繰越損益金(G + H)	△ 433,395,252	△ 401,916,592
追加信託差損益金	△ 273,917,354	△ 275,672,010
(配当等相当額) (8,013,675)	(8,013,675)	(7,988,210)
(売買損益相当額) (△281,931,029)	(△281,931,029)	(△283,660,220)
分配準備積立金	-	1,548,921
繰越欠損金	△ 159,477,898	△ 127,793,503

(注1) **(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) **(C)信託報酬等**は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) **(E)前期繰越損益金**とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) **(F)追加信託差損益金***とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注5) 当作成期の信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するため要した費用は1,202,394円です。

分配金の計算過程

項目	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,830,623円	3,873,516円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	8,519,203円	7,988,210円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	10,349,826円	11,861,726円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	88.61円	102.05円
(g) 分配金	2,336,151円	2,324,595円
(h) 分配金(1万口当たり)	20円	20円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	<p>①ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に投資することにより、セクター・銘柄を選択し、幅広く分散投資することで、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジ（為替リスクの回避）を行いません。運用の指図に関する権限の一部をザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーに委託します。</p> <p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p>	
主要運用対象	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド受益証券
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等
運用方法	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の利子等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン マザーファンド

運用報告書

第 40 期

(計算期間：2022年11月16日～2023年5月15日)

運用方針	<p>①主にユーロ建ての欧州の公社債に分散投資を行い、中長期的に安定した収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標とした運用を行います。</p> <p>外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	主要運用 対象	<p>主にユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等</p>
	<p>②ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）をベンチマークとし、インカム・ゲイン（利子・配当等収益）を中心とした収益の確保に努めます。</p> <p>③運用にあたってはザ・パトナム・アドバイザリー・カンパニー・エルエルシーに運用指図に関する権限（国内の短期金融資産の運用の指図に関する権限を除きます）を委託します。</p>		運用方法



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

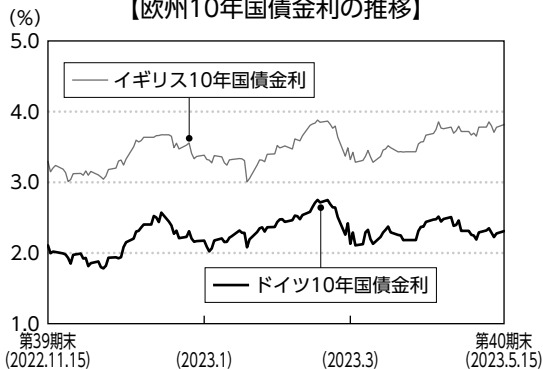
運用経過

2022年11月16日～2023年5月15日

投資環境

欧州債券市況

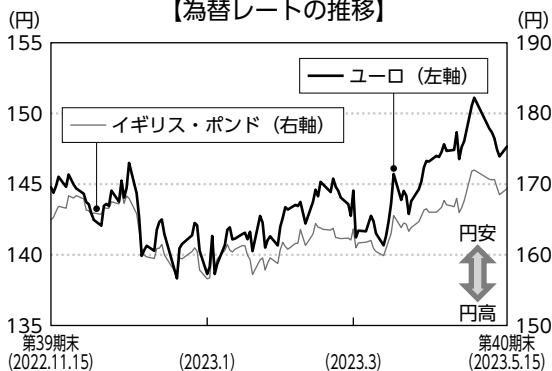
【欧州10年国債金利の推移】



(注) 10年国債金利はブルームバークのデータを使用しています。

欧州為替市況

【為替レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

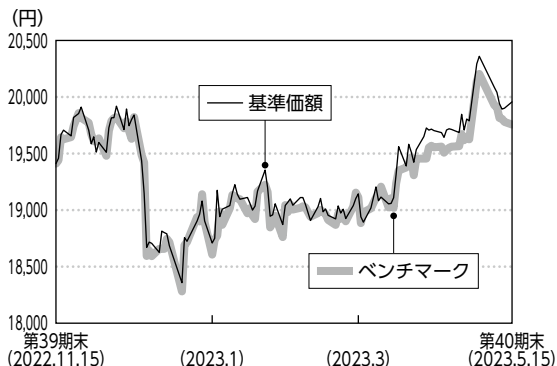
当期のドイツ10年国債金利は小幅に上昇しました。期初から3月上旬にかけては、欧州におけるインフレピークアウト観測の高まりなどを背景に金利は一時低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、ECBの金融引き締めに積極的な姿勢などから上昇基調で推移しました。3月中旬の米シリコンバレーバンクの経営破綻をきっかけとした欧米金融機関に対する信用不安の高まりから金利は低下し、その後、当期末にかけては横ばいで推移しました。

当期のイギリス10年国債金利は上昇しました。期初から3月上旬にかけては、イングランド銀行（BOE：中央銀行）の利上げによる景気後退リスクが意識されたことなどにより、金利は一時低下する場面もありましたが、BOEの金融引き締めに積極的な姿勢などを受けて上昇基調で推移しました。3月中旬の欧米金融機関に対する信用不安の高まりから金利は低下しましたが、その後は、BOEの金融引き締めに積極的な姿勢やイギリスの経済指標が堅調であったことなどを受け、当期末にかけては上昇基調で推移しました。

ユーロ／円相場は期を通じて見るとユーロ高円安となりました。期初から1月上旬にかけて、日銀によるYCCの修正などを受けて日欧金利差が縮小するとの見方が強まったことからユーロ高円安基調で推移しました。その後、ユーロ圏の堅調な経済指標や日銀総裁就任前の植田氏が金融緩和継続を支持したこと、ECB高官の金融引き締めに積極的な発言などからユーロ高円安基調で推移しました。3月中旬の欧米金融機関に対する信用不安の高まりからユーロが対円で下落しましたが、当期末にかけては各国中央銀行の対応を受けて欧米の金融システム不安がやわらいだことや、利上げに積極的なECBと緩和政策を維持する日銀との金融政策の方向性の違いが意識されたことから、ユーロ高円安となりました。

イギリス・ポンド／円相場は期を通じて見るとイギリス・ポンド高円安となりました。期初から12月中旬にかけては横ばいで推移しましたが、12月下旬に日銀によるYCCの修正を受けてイギリス・ポンドは対円で下落しました。その後は再び横ばいで推移しましたが、3月末に欧米の金融システム不安がやわらいだことなどから対円で上昇しました。4月上旬から当期末にかけてはイギリス・ポンド高円安で推移しました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 3月末から5月初旬にかけて、欧米の金融システム不安がやわらいだことや欧州中央銀行（ECB）が金融引き締めに積極的な姿勢を示す一方で日銀が金融緩和政策を維持したことなどから、ユーロが対円で上昇したこと

<下落要因>

- ・ 12月下旬、日銀によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作、YCC）の修正により、ユーロとイギリス・ポンドが対円で下落したこと

ポートフォリオ

主にユーロ建ての多種多様な債券（欧州の国債、政府機関債、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイイールド社債等）に分散投資することで、インカム・ゲインを中心とした収益の確保に努め、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当マザーファンドのポートフォリオの内容については、運用委託先であるザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーのデータに基づき作成しています（一部データを除きます）。

当期末の保有債券は、組入比率の高い順に国債（55.7%）、投資適格社債（40.5%）、エマージング債券（0.9%）としています。投資適格社債の組み入れを対ベンチマーク比で多めの配分とした一方、政府・国際機関債等を少なめの配分としました。前期末と比較すると投資適格社債の配分を引き上げ、ハイイールド社債の配分を引き下げました。

当期のデュレーションは対ベンチマーク比でやや短めに調整し、平均格付は前期末より引き続き「A格」としています。

(注1) 比率は外貨建資産に対する評価額比です。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。以下同じです。

(注3) 原則として格付はムーディーズ社、S & P社、フィッチ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+2.8%となり、ベンチマーク騰落率(+1.8%)を上回りました。これは投資適格社債等に対ベンチマーク比で多めとしていたことなどがプラスに寄与したことによるものです。

今後の運用方針

欧州経済については、ユーロ圏の2023年1－3月期の実質域内総生産（GDP）成長率（速報値）が前期比+0.1%と小幅にプラス成長となりましたが、状況については引き続き注意が必要です。金融政策については、ECBが5月の理事会において0.25%の利上げを決定していることから、今後も動向を注視していきます。

今後の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で現在はやや短めに調整していますが、市場動向に応じて調整します。国・地域別配分は、ベンチマーク対比で現在はスイス、スウェーデン等を多め、ドイツ、フランス等を少なめとしています。機動的に調整します。債券種別配分は、ベンチマーク対比で引き続き、投資適格社債の組み入れを多め、政府・国際機関債等の組み入れを少なめとする方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	ベンチマーク	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
36期(2021年5月17日)	21,100	4.5	20,046	4.9	96.1	1,242
37期(2021年11月15日)	21,159	0.3	20,015	△0.2	95.8	1,051
38期(2022年5月16日)	19,817	△6.3	18,578	△7.2	96.1	977
39期(2022年11月15日)	19,411	△2.0	18,308	△1.5	96.5	926
40期(2023年5月15日)	19,957	2.8	18,634	1.8	96.4	924

(注) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク	騰落率	債券組入比率
(期首) 2022年11月15日	19,411	—	18,308	—	96.5
11月末	19,648	1.2	18,495	1.0	96.5
12月末	18,685	△3.7	17,654	△3.6	95.1
2023年1月末	19,059	△1.8	17,936	△2.0	95.2
2月末	19,103	△1.6	17,923	△2.1	95.2
3月末	19,561	0.8	18,251	△0.3	97.1
4月末	19,789	1.9	18,511	1.1	95.8
(期末) 2023年5月15日	19,957	2.8	18,634	1.8	96.4

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2022年11月16日～2023年5月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	2円	0.011%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.011)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	2	0.011	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（19,314円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2022年11月16日～2023年5月15日

公社債

			買付額	売付額	
外国	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 57	千イギリス・ポンド 29	
		社債券	—	49 (23)	
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェー・クローネ 193	千ノルウェー・クローネ 259	
	ユーロ	オランダ	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 111
		フランス	国債証券	11	20
		ドイツ	国債証券	74	47
		ポルトガル	国債証券	47	75
		スペイン	国債証券	8	9
		イタリア	国債証券	30	48
		オーストリア	国債証券	—	18
		その他	社債券	227	119

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。また、その他には国際機関等を含みます。以下同じです。

(注3) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2022年11月16日～2023年5月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
AMGEN INC	16,818	AT&T INC	17,481
AT&T INC	16,276	SUEDZUCKER INT FINANCE	16,304
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	10,846	OBRIGACOES DO TESOIRO	11,167
UK TREASURY	7,914	AMERICAN INTL GROUP	8,379
OBRIGACOES DO TESOIRO	6,969	BUONI POLIENNALI DEL TES	6,886
BUONI POLIENNALI DEL TES	4,246	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	4,419
NORWEGIAN GOVERNMENT	2,590	NORWEGIAN GOVERNMENT	3,479
FRANCE (GOVT OF)	1,677	UK TREASURY	3,089
UK TREASURY	1,526	REPUBLIC OF AUSTRIA	2,637
BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1,273	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2,408

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2023年5月15日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末								
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
イギリス	千イギリス・ポンド 810	千イギリス・ポンド 766	千円 129,827	% 14.0	% -	% 9.3	% 4.7	% -	
スイス	千スイス・フラン 90	千スイス・フラン 101	15,370	1.7	-	0.5	1.1	-	
デンマーク	千デンマーク・クローネ 310	千デンマーク・クローネ 326	6,483	0.7	-	0.2	0.5	-	
ノルウェー	千ノルウェー・クローネ 200	千ノルウェー・クローネ 189	2,413	0.3	-	-	0.3	-	
スウェーデン	千スウェーデン・クローナ 750	千スウェーデン・クローナ 720	9,437	1.0	-	0.1	1.0	-	
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 290	千ポーランド・ズロチ 264	8,636	0.9	-	-	-	0.9	
ユーロ圏	千ユーロ	千ユーロ							
	アイルランド	50	43	6,426	0.7	-	0.3	0.4	-
	オランダ	340	327	48,310	5.2	-	4.3	0.6	0.3
	ベルギー	150	154	22,877	2.5	-	1.3	1.2	-
	フランス	820	767	113,280	12.2	-	8.7	3.6	-
	ドイツ	540	488	72,146	7.8	-	7.8	-	-
	ポルトガル	60	48	7,114	0.8	-	0.8	-	-
	スペイン	360	363	53,635	5.8	-	4.0	1.5	0.3
	イタリア	570	567	83,845	9.1	-	3.9	3.8	1.4
	フィンランド	40	33	4,900	0.5	-	0.5	-	-
	オーストリア	80	66	9,770	1.1	-	0.5	0.6	-
その他	2,255	2,013	297,343	32.1	-	18.9	10.9	2.3	
合計	-	-	891,820	96.4	-	60.9	30.1	5.3	

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千円	邦貨換算金額	
イギリス			%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円
国債証券	UK TREASURY	2.0000	2025/09/07	270	258	43,852
	UK TREASURY	4.5000	2034/09/07	150	159	26,959
	UK TREASURY	3.2500	2044/01/22	220	191	32,383
	UK TREASURY	4.0000	2060/01/22	40	39	6,657
	UK TREASURY	2.5000	2065/07/22	10	6	1,173
	UK TREASURY	3.5000	2068/07/22	20	17	3,017
社債券	APPLE INC	3.0500	2029/07/31	100	93	15,783
小計			-	-	-	129,827
スイス				千スイス・フラン	千スイス・フラン	
国債証券	SWITZERLAND	4.0000	2028/04/08	60	69	10,473
	SWITZERLAND	1.5000	2042/04/30	30	32	4,896
小計			-	-	-	15,370
デンマーク				千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	
国債証券	KINGDOM OF DENMARK	1.7500	2025/11/15	220	215	4,268
	KINGDOM OF DENMARK	4.5000	2039/11/15	90	111	2,215
小計			-	-	-	6,483
ノルウェー				千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	
国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0000	2028/04/26	200	189	2,413
小計			-	-	-	2,413
スウェーデン				千スウェーデン・クローナ	千スウェーデン・クローナ	
国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	1.0000	2026/11/12	710	674	8,835
	SWEDISH GOVERNMENT	3.5000	2039/03/30	40	46	602
小計			-	-	-	9,437
ポーランド				千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	
国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	0.7500	2025/04/25	290	264	8,636
小計			-	-	-	8,636
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ	
アイルランド						
国債証券	IRELAND GOVERNMENT BOND	0.2000	2027/05/15	30	27	4,037
	IRELAND GOVERNMENT BOND	2.0000	2045/02/18	20	16	2,389
小計			-	-	-	6,426
オランダ						
国債証券	NETHERLANDS GOVERNMENT	0.5000	2026/07/15	40	37	5,554
	NETHERLANDS GOVERNMENT	0.2500	2029/07/15	40	35	5,168
	NETHERLANDS GOVERNMENT	3.7500	2042/01/15	40	45	6,738
社債券	BMW FINANCE NV	0.3750	2023/07/10	20	19	2,938
	ING GROEP NV	1.6250	2029/09/26	200	189	27,910
小計			-	-	-	48,310

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千ユーロ	千円	
ユーロ	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
ベルギー						
国債証券	BELGIUM KINGDOM	1.0000	2026/06/22	80	76	11,263
	BELGIUM KINGDOM	4.2500	2041/03/28	70	78	11,613
小計				-	-	22,877
フランス						
国債証券	FRANCE (GOVT OF)	0.5000	2025/05/25	50	47	7,065
	FRANCE (GOVT OF)	2.7500	2027/10/25	80	80	11,906
	FRANCE (GOVT OF)	0.5000	2029/05/25	190	168	24,821
	FRANCE (GOVT OF)	0.0000	2030/11/25	170	139	20,598
	FRANCE (GOVT OF)	4.5000	2041/04/25	40	47	6,940
	FRANCE (GOVT OF)	3.2500	2045/05/25	10	9	1,474
	FRANCE (GOVT OF)	4.0000	2055/04/25	80	90	13,370
社債券	CREDIT AGRICOLE SA	2.6250	2027/03/17	100	94	14,001
	TOTAL CAPITAL INTL SA	1.4910	2030/09/04	100	88	13,101
小計				-	-	113,280
ドイツ						
国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	0.0000	2031/08/15	300	251	37,082
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.5000	2044/07/04	220	221	32,739
	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.2500	2048/08/15	20	15	2,323
小計				-	-	72,146
ポルトガル						
国債証券	OBRIGACOES DO TESOURO	0.3000	2031/10/17	60	48	7,114
小計				-	-	7,114
スペイン						
国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.6000	2025/04/30	20	19	2,883
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.5000	2027/04/30	100	94	14,017
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2028/10/31	100	110	16,354
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.2500	2030/10/31	40	35	5,184
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.2000	2037/01/31	20	21	3,142
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	5.1500	2044/10/31	50	59	8,755
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.9000	2046/10/31	20	17	2,528
	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	1.0000	2050/10/31	10	5	769
小計				-	-	53,635
イタリア						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	2.5000	2024/12/01	90	88	13,134
	BUONI POLIENNALI DEL TES	6.5000	2027/11/01	210	236	34,892
	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.6500	2032/03/01	140	115	17,115
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.0000	2037/02/01	30	28	4,259
	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.7500	2044/09/01	90	92	13,605

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープンマザーファンド

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額		
				千ユーロ	千円	
ユーロ	%		千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア						
国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	1.7000	2051/09/01	10	5	838
小計		-	-	-	-	83,845
フィンランド						
国債証券	FINNISH GOVERNMENT	1.1250	2034/04/15	40	33	4,900
小計		-	-	-	-	4,900
オーストリア						
国債証券	REPUBLIC OF AUSTRIA	0.5000	2027/04/20	40	36	5,448
	REPUBLIC OF AUSTRIA	1.5000	2047/02/20	40	29	4,321
小計		-	-	-	-	9,770
その他						
特殊債券	EQUINOR ASA	1.2500	2027/02/17	100	92	13,728
社債券	AMERICAN TOWER CORP	1.9500	2026/05/22	100	94	13,926
	AMGEN INC	2.0000	2026/02/25	120	115	17,072
	AT&T INC	2.0500	2032/05/19	130	110	16,357
	BECTON DICKINSON AND CO	1.9000	2026/12/15	100	94	14,017
	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	1.0000	2025/05/15	100	95	14,143
	CHUBB INA HOLDINGS INC	1.5500	2028/03/15	100	91	13,465
	CITIGROUP INC	1.5000	2028/10/26	200	176	26,053
	CREDIT SUISSE GROUP AG	0.6500	2029/09/10	300	231	34,166
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	2.1250	2024/09/30	150	146	21,694
	JPMORGAN CHASE & CO	2.8750	2028/05/24	225	215	31,771
	PROLOGIS LP	3.0000	2026/06/02	100	97	14,400
	SKANDINAVISKA ENSKILDA	1.3750	2028/10/31	230	225	33,289
	UBS GROUP AG	0.6250	2033/02/24	200	140	20,678
	VERIZON COMMUNICATIONS	1.2500	2030/04/08	100	85	12,579
小計		-	-	-	-	297,343
ユーロ小計		-	-	-	-	719,650
合計		-	-	-	-	891,820

投資信託財産の構成

2023年5月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	891,820	95.9
コール・ローン等、その他	38,498	4.1
投資信託財産総額	930,319	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお5月15日における邦貨換算レートは、1米ドル136.05円、1イギリス・ポンド169.36円、1スイス・フラン151.42円、1デンマーク・クローネ19.83円、1ノルウェー・クローネ12.73円、1スウェーデン・クローナ13.10円、1ポーランド・ズロチ32.67円、1ユーロ147.66円です。

(注2) 外貨建純資産(922,464千円)の投資信託財産総額(930,319千円)に対する比率は99.2%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,020,012,370円
コール・ローン等	29,484,813
公社債(評価額)	891,820,262
未収入金	90,754,618
未収利息	7,541,600
前払費用	411,077
(B) 負債	95,059,271
未払金	90,841,772
未払解約金	4,217,497
その他未払費用	2
(C) 純資産総額(A-B)	924,953,099
元本	463,480,231
次期繰越損益金	461,472,868
(D) 受益権総口数	463,480,231口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,957円

(注1) 期首元本額 477,197,496円

期中追加設定元本額 21,636,189円

期中一部解約元本額 35,353,454円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ／パトナム・ユーロインカムオープン 381,046,281円

ニッセイ／パトナム・毎月分配ユーロインカムオープン 82,433,950円

損益の状況

当期(2022年11月16日~2023年5月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	10,513,749円
受取利息	10,515,567
その他収益金	182
支払利息	△ 2,000
(B) 有価証券売買損益	14,850,283
売買益	30,482,827
売買損	△ 15,632,544
(C) 先物取引等損益	85,086
取引益	226,692
取引損	△ 141,606
(D) 信託報酬等	△ 99,183
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	25,349,935
(F) 前期繰越損益金	449,096,321
(G) 追加信託差損益金	20,472,450
(H) 解約差損益金	△ 33,445,838
(I) 合計(E+F+G+H)	461,472,868
次期繰越損益金(I)	461,472,868

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (G)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (H)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

指数に関して

■ファンドのベンチマーク等について

- ・ブルームバーグ汎欧州総合インデックス（円換算ベース）

ブルームバーグ汎欧州総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、汎欧州通貨建て投資適格債券市場のパフォーマンスを表します。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。なお、「円換算ベース」とは同インデックスをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。